



あお のり たけ
青山 昇 武

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

中学校でのAED講習の実施を

問 命を守る教育として中学校でのAED講習を行うべきではないか。

中学校や小学校の高学年であれば、適切な講習を受ければAEDを使えるようになるので、命を守れることや、命の大事さを学ぶうえで、全中学校で毎年のAED講習を行うべきである。



答 中学校におけるAEDの講習会は全校で実施しているが、生徒を対象として実施しているのは13校であり、全学年を対象として実施しているのは3校のみである。

中学生には判断力や行動力もあり、中学校での学習が生涯を通してのAED講習の入り口になると考えているが、全校の生徒が在学中に毎年講習を受けられるようにすることは人的に限界がある。現在は消防署や日本赤十字社の協力を受けて講習を実施しているが、本年度から学校職員が応急手当普及員の資格を取得しようとしており、この資格により内部研修の助手を務めることができる。こういった職員を少しでも増やし、1人でも多くの生徒がAED講習を体験できるよう努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 防災について
 - ・補助金（耐震・家具固定）の状況と今後の制度拡充は
 - ・橋梁老朽化の現状と対策は
- 学校教育について
 - ・通学路の安全対策について
- 福祉制度について
 - ・電気式たん吸引器の故障時の緊急対応について
 - ・軽度の聴覚障がい児に対する補聴器購入補助について など



▲命を守る教育としてAED講習の実施を



かとう みえこ
加藤 美江子

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

災害時における生活用水の確保は

問 阪神・淡路大震災、東日本大震災で生活用水の確保に大変困ったという点から、我が市における生活用水の確保として、「災害時協力井戸」の登録制度を導入するとともに、すべての避難所に汚れた水の浄水機能を持つ装置の配備を求めるがいかか。



答 現在、飲料水については、ペットボトル等を配備している。

市内全体でろ水機を39台持っており、小学校のプール等の水をろ過して生活用水として利用する。また、井戸水を提供していただくような災害応援協定を結んでいる。孤立が予想される地域については、本年度に簡易浄水器を配備する予定であり、今後も備蓄品更新の際に、市内に空白の地域がでないよう平均的に配備していく。

災害時の協力井戸については、地域にある井戸水を使って防災訓練をしている自主防災組織もあることから、井戸の登録をお願いできる状況であると考えている。現在、どこにどれくらい井戸があるのか調査中であり、今後どういう方向で登録制度を導入するのか検討していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 防災について
 - ・津市防災会議における女性の登用拡大
 - ・「家族防災会議の日」設定を
 - ・学校施設の「ガラス飛散防止フィルム」の導入の進捗状況は
- 教育から
 - ・実践的防災教育総合支援とは
 - ・各学校に「防災担当」の設置
- 病児・病後児保育の充実を など



▲「災害時協力井戸」登録制度の導入を